



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第6号

令和4年11月4日 発行

高等部3年後期産業現場等における実習

9月12日(月)から22日(木)の8日間、高等部3年生による後期産業現場等における実習が企業11カ所、A型事業所1カ所、B型事業所8カ所、生活介護事業所4カ所の計24カ所で行われました。3年生にとって最後の実習ということで、生徒たちは将来の進路先の選択・決定を意識して取り組みました。生徒が取り組んできた実習での感想を紹介します。

<企業での実習>

私は、常磐病院で実習を行いました。仕事の内容は、メッセージ業務、ファイル消毒作業、総合案内のお手伝い、テプラでのシール作りやラミネートなどの軽作業です。分からない時は担当者に聞いたり、疲れた時は担当者に相談したりしてから休憩をとったりすることもありましたが、最後まで仕事をしました。これからは、毎日、体調管理を心がけていきたいと思います。実習をしてみて、卒業後には常磐病院で働いてみたいと思いました。

<B型事業所での実習>

私は9月12日から22日の7日間、せきれいに行きました。ビスの袋入れ、スペーサーシール貼り、ダンボール型抜き、パッキン袋づめをやりました。スペーサーシール貼りが上手にできました。ビスの貼り止めもホチキスを使ってたくさんできました。けっそくバンドをつなげるところがこまかくて難しかったです。がんばりました。今後は、時間を意識することや気持ちの切りかえをすることなどを目標にしてがんばりたいと思います。



<生活介護事業所での実習>

私は、いわき学園で3回目の実習をさせていただきました。午前中は、バリ取り、部品の袋詰め、ペットボトルのキャップ拭きに取り組みました。私が一番得意な仕事は、バリ取りです。午後には大好きな音楽活動もあります。他の利用者の方と一緒にリズムに乗ってダンスをする時間が楽しかったです。また、施設外活動もあり、今回はサンマリーナでお散歩をしました。きらきら光る海の中に魚を見つけて嬉しかったです。卒業後も、お仕事や好きな活動をして、楽しく充実した生活を送りたいと思っています。



中学部産業現場等における実習

9月5日（月）から9日（金）までの5日間、今年度の中学部ワーキングウィークが実施されました。中学部全ての生徒が午前は9時25分から12時10分まで、午後は13時15分から13時45分までの時間にそれぞれの作業班の作業に取り組みました。1日を通しての作業は1年生にとって初めての体験でしたが、休憩を随時とりながら自分の与えられた仕事に取り組むことができていました。2, 3年生はさすがに経験者、作業に集中する時間も長く1年生の良いお手本となっていました。

3年生はこの期間、一人一人が2日間校外に出て実習をしてきました。昨年度は、コロナウィルス感染症対策のため中止となってしまいましたが、今年度は3年生16名が校外8カ所の事業所に出向き実習をしてきました。初めての外部での体験に緊張する様子も見られましたが、どの生徒も実習先の指導員さんの話をよく聞いて自分の与えられた作業やいろいろな活動に取り組み、充実した2日間とすることができたようでした。「初めは緊張したけど、楽しかった。」実習後このように感想を述べる生徒もたくさんいて、この貴重な体験を今後の作業等に生かしてってもらいたいと思います。



パンづくり

(社会福祉法人誠心会 虹のかけはし)



段ボール折り

(社会福祉法人エル・ファロ 創造空間)

令和4年度 障がい者就職面接会

ハローワーク主催の『いわき地区障がい者就職面接会』に参加した生徒の感想を紹介します。

10月19日（水）に、いわき産業創造会館で行われた『いわき障がい者就職面接会』に参加してきました。実際に企業の人と面接するのは初めてだったので、とても緊張しました。面接会では、たくさん参加する企業の中から2社まで面接することができました。面接はとても緊張しましたが、学校で練習してきた話し方や態度などを意識して面接することができました。今回の就職面接会の経験に今後の採用試験に生かしていきたいです。